

伝えたい 残したい

20世紀 のうしく

問 文化芸術課(中央生涯学習センター内) ☎871-2300

てんとうしゅくがかい 点燈祝賀会

撮影：昭和22(1947)年1月4日



昭和22年1月4日午
前10時に女化地区は一
斉に通電し、女化分教
場で点燈祝賀会が行な
われました。写真中の
人物が手に持っている
提灯には「点」「燈」「祝
「賀」の文字が書かれて
います。
初めは電気容量が3
キロワット5アンペア
で、電柱の間隔が広い

ところに風が吹くとす
ぐ停電になりました。
しかし戦後の資材不足
の中、支払いに芋や野
菜を充てて電線を調達
し、現地の木を伐つて
900本の電柱を建て
て電化工事を完了させ
た住民にとって、電燈
に明かりが灯った時の
喜びはとても大きなも
のでした。



明治・大正・昭和の

「昔のうしく」の写真を募集しています。

里山の樹木

問 都市計画課

☎内線2524

第25回

ヤツデ

ヤツデの樹形：新地町の斜面林
平成12年11月23日撮影



花序：上部(雄花)、下部(雌花)
平成23年11月29日撮影

ウコギ科の高さ1.5〜3mの
常緑低木。葉・花が目立つ樹木
です。茨城県以南〜四国・九州
に分布。市内では斜面林等に自
生、庭木としても植栽されていま
す。茎は根もとから数本集まって
出て、まばらに枝分れします。葉

は長さ20〜40cmの葉柄があり、葉
身は光沢があり、長さ10〜30cm、
円形で深く5〜9に分裂してい
ます。晩秋、枝先に大型円錐花
序が伸び、1〜2回分枝し、花柄
の先に多数の花が散形に咲きま
す。花弁は白色で5枚、長さ3〜
5mm。同じ花が初め雄性で、後に
雌性に変わります。果実は径約
5mmの球形で、翌年夏に黒く熟し
ます。名前の由来は漢字の八手、
分裂葉を八で表現したものです。
※牛久の里山樹木ハンドブック71
ページ掲載。本の問い合わせは牛久自
然観察の森 ☎874-6600まで。
【資料提供】NPO法人うしく里山の
会(文章：本田寛、写真：渡辺泰)

文芸さろん | 睦月 |

酔芙蓉心がわりのくれなるや
街路樹の紅葉菊の香に夕映えさす
冬めくや曇りガラスに指のあと
木の葉散る歴史の真壁訪れて
ひとり酒胡弓にとろり酔芙蓉
高尾山赤色に染まる紅葉かな
極月や削り過ぎたる筆の芯
実生ゆず香り効用全て良し
風邪に負けないビタミン・パワー

倭文子
岡村さん
静枝
和多田さん
我氏
月田さん
善一郎
草葉

【作品募集】イラストや俳句、川柳、短歌など
【あて先】〒300-1292牛久市中央3-15-1
「広報うしく文芸さろん」係 FAX：873-2512
E-mail：kouhou@city.ushiku.ibaraki.jp
【記載事項】作品、氏名、電話番号、匿名希望
の方はその旨(ペンネームもOK)

「牛久の巨樹」発売中 ※お求めは都市計画課まで(1,200円)